

第126号

令和6年(2024年)1月1日 滋賀県立安土城考古博物館

滋賀県立安土城考古博物館第69回企画展 滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展

·複製·復元



4年期刊新報 三十年







禁込みから出土した土窟 (社管県蔵)



業平東下5個 月岡雪蘭原 我们等文化数据



製態止め





(保護工程區像提供:株式会社板田園珠堂)



$_{\text{GRR}}2\text{p}10\text{p}(\pm)-4\text{p}7\text{p}(\pm)$

開館時間 午前9時~午後5時※ただし、入館は午後4時30分まで 休 館 日 2月13日(火)·19日(月)·26日(月)·

3月4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・4月1日(月)

入館料 大人600円(480円)/高大生360円(290円) ※小中生・病内高齢者 障害のある方は無料、※()は20人以上の団体料金です。 信長の館との共通券 大人980円/高大生540円



近江風土記の丘

第69回企画展・滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 文化財を継ぐ

修理·複製·復元

会 場 期 企画展示室 令和6年2月10日(土)~4月7日(日)

の使命がありながら、なぜ、博物館は展覧会を行 せ、保存状態に少なからず負担をかけます。 館が行う展覧会は、文化財を保管環境から移動さ 後世へと受け渡す使命があります。一方で、博物 虫・黴・動物・人間・災害による破損などから守り、 博物館は、それらを温湿度・光・化学物質の影響 すい状態にあります。文化財の収集・保管を行う 長い時を経てきた文化財の多くは、 脆く壊れや

します。 性について展覧 る「もの」と「人 財の保存におけ 複製・復元の3 う必要があるの の関わりの重要 に紹介し、文化 つの手法を中心 蔵品から、修理 琶湖文化館の収 考古博物館と琵 展では、安土城 でしょうか。本



鍛冶屋敷遺跡 溶解炉(滋賀県提供)

□仏涅槃図(西明寺蔵)【前期】 鯉魚図 仙人図 聖徳太子孝養像(長命寺蔵) 望月玉蟾筆(琵琶湖文化館蔵 葛蛇玉筆(曹源寺蔵) 【後期】 【前期

3月9日(土)

13時30分~15時

復元!紫香楽大仏の鋳造技術

講師

大道和人 (当館

参加費 三〇〇円

企画展関連講座

展示替え

【前期】2月10日(土)~3月10日(日)

後期3月12日(火)~4月7日(日)

織田信長画像(摠見寺蔵)【後期】 浅井長政画像復元模写(当館蔵) 【前期】

織田信長画像復元模写 (当館蔵) [後期]

黒田長山4号墳 短甲 (滋賀県蔵

△上御殿遺跡 短剣鋳型 (滋賀県蔵

△烏丸崎遺跡 番場遺跡 網代(滋賀県蔵 木偶(滋賀県蔵

鍛冶屋敷遺跡 製鉄関連遺物(滋賀県蔵 鋳造関連遺物 (滋賀県蔵

木瓜原遺跡 製鉄・梵鐘鋳造・土器生産関連遺物(滋賀県蔵



△薬師十二神符像(新宮神社蔵)

【後期展示】

七〇〇円

△ 浅井長政画像 (小谷城保勝会蔵)

【主な展示資料】 選択集十六章之図 高田敬輔筆 (琵琶湖文化館蔵) △県指定文化財、□市町指定文化財

3月17日(日)

13時30分~15時

文化財修理で引き継ぐ心 近江の文化財修理を例に

参加費 坂田さとこ氏(株式会社坂田墨珠堂 五〇〇円

当館2階セミナールーム 一〇〇名(往復はがきによる事前申込)

【前期展示】 〈ギャラリートーク〉

3月9日(土) ①10時30分~、②15時~ (親子たいけん博物館)

※入館料が必要です。

3月24日(日) ①10時30分~12時、②14時~15時30分

※要予約 ミニ屛風をつくろう!」 各10名 (2月2日(土)から受付

当館ホームページでご確認下さい なることがあります。最新の情報は 事情により行事内容や日時が変更に





収蔵資料紹介

軽野塔ノ塚廃寺出土 0

湖東式軒丸瓦

湖東式軒丸瓦 七世紀後半 当館所蔵 点

知られていました。ほ場整備に伴う発掘調査では 愛荘町の野々日廃寺や小八木廃寺、妙園寺廃寺のほ 金堂跡とみられる礫・瓦敷きの遺構や、門跡・寺域 の依智秦氏が郡司の主要ポストを独占するほど、大 古代の愛知郡では、秦氏の一族とされる渡来系氏族 氏族との関連が想定される寺院などで確認されます。 長浜市華寺廃寺など、湖東地域や湖北地域の渡来系 か、蒲生郡竜王町の雪野寺跡や東近江市綺田廃寺 式軒丸瓦が出土しました。湖東式軒丸瓦は、 文・外区の圏線をもつ地域性の強い軒丸瓦の、 式の伽藍配置が想定されます。特筆すべき遺物とし を限る区画溝・二基の瓦窯などが確認され、法起寺 きな勢力を有していたことから、軽野塔ノ塚廃寺も て、中房の中央に一個の蓮子を配し、外区内縁の珠 七世紀後半に依智秦氏が造営したと考えられます。 軽野塔ノ塚廃寺は愛知郡愛荘町蚊野・軽野に所在 古くから塔跡とみられる土壇や礎石状の巨石が 愛知郡

内縁に二七個の珠文をもつ単弁六葉蓮華文の湖東式 圏線をめぐらし、 今回紹介する資料は、 九個の蓮子を配するもので、 丸く突出する中房の外周に

> 単弁八葉蓮華文や複弁八葉蓮華文など、 軒丸瓦です。これとセットとなる軒平瓦は、弧文の 東式軒丸瓦が知られています。 弧文軒平瓦と考えられます。軽野塔ノ塚廃寺では、 間隔が広く、下端付近に六個の指頭圧痕をもつ三重 数種類の湖

想定されます。 り、瓦工人の移動や近江からの瓦製作技術の伝播が 当文様の類似しており、百済の寺院との関連性が指 せんが、朝鮮半島の大通寺跡や西穴寺跡出土瓦と瓦 長野県からも数ヶ所の寺院跡での出土が知られてお 摘されています。また、近江のほか、福井県や岐阜県 湖東式軒丸瓦の詳しい系譜は、よくわかっていま

北原 治



甦る安土城跡

~平成の調査整備事業を振り返る その2~

調査を行いました。 搦手道で、遺構の内容や残存の状況などを確認する を終め道の調査もそのひとつで、大手道、百々橋口道、などの道の調査もそのひとつで、大手道、百々橋口道、 まな調査をしてきました。「城内主要道確認調査 平成の安土城調査整備事業は、城内各所でさまざ

の特異性が注目されました。 腹に向かって延びていましたが、発掘調査を始める の調査では、虎口が4箇所もあることがわかり、そ を現したのです。それが今現地で見ることのできる と、なんとその石段の下から築城当時の大手道が姿 査前の大手道は道幅3mほどの石段が大手口から山 直線に山腹まで登る大手道の姿です。また大手口 大手道は最も早い段階で着手した調査でした。 調

皆さんもよくご存じの三 あることが、遺構からも証明されたのです。また、 どを通しやすくするための工夫とみられることから、 ロープ状になっていることがわかりました。 台所道とも呼ばれる搦手道が物資搬入のための道で 搦手道の調査では、山麓部の道には石段がなくス

にご期待ください。 でしょうか。今後の調査 ような大きな発見がある 令和の調査でも、 この

(滋賀県文化財保護課)



でのことでした。

特別陳列〈望楼下〉

令和6年

2015日(土)

連続講座Ⅱ

近江の遺跡は語る④

瓦が語る飛鳥時代

~1月14日(日)

13日

 Ξ

連続講座Ⅲ

講師…太田浩司氏

京極氏は北近江の戦国史に如何に関わったか?」

北近江の戦国史を深堀りする!①

淡海歴史文化研究所所長・長浜市長浜城歴史博物館元館長)

(要予約)

安土と八幡の城 掟書の修理記念公開特別陳列から 下町

陳列では、 料なども展示しました。 織田信長の画像、 の城下町の江戸時代の様子を示す絵図や 二つの城下町と掟書は、 それにあわせ、 下町中掟書の修理成果を披露しました。 10 月21日から11月19日まで開催した特別 重要文化財の安土および八幡 掟書が出されたそれぞれ 安土の城下町に関わる資 とてもよく似て

安土の城下町が、 秀次が信長の町づく 廃城後に町と掟

りを手本にした 書ごと八幡に移され、 ます。

しょう。 安土で区別され ながら八幡では こともあるので しかし

がわかります。 わってきたこと きく時代が変 られています。 職人 が明らかに分け 士と町人(商人・ ていなかった武 、年の間に、 (高木叙子 の居住地

第69回企画展「近江の文化財を継ぐ一修理・複製・復元一」

10月(土)

連続講座Ⅲ ギャラリートーク

25 24 18 日日日 月日月

1711

企画展関連講座

講師…太田浩司氏〈要予約〉

羽柴秀吉は如何に北近江を統治したか?」

北近江の戦国史を深堀りする

(3)

講師…坂田さとこ氏(株式会社坂田墨珠堂) 〈要予約

「文化財修理で引き継ぐ心―近江の文化財修理を例に―」

親子たいけん博物館「ミニ屛風をつくろう!」〈要予約

3月

9日 4日

 Ξ a

企画展関連講座

「復元!紫香楽大仏の鋳造技術

講師…大道和人(当館)〈要予約〉

休館日

令和6年2月10日(土)~4月7日(日)

1713日日

 \pm

連続講座Ⅱ

近江の遺跡は語る⑤

少

休館日

講師…太田浩司氏〈要予約〉

浅井氏と織田信長との死闘の実像は如何に?

北近江の戦国史を深堀りする!②

26 19日日

月月

休館日

講師…中村智孝 ((公財)滋賀県文化財保護協会) 〈要予約〉

聖武天皇の禾津頓宮を発見か―大津市膳所城下町遺跡の大型掘立柱建物―

2月

11日(日) 5日(月

連続講座Ⅲ

休館日 休館日

2922日(月)

休館日

講師…福井知樹 ((公財)滋賀県文化財保護協会) (要予約)

―蜂屋遺跡を中心に



- ※博物館関連隣座の会場は当館セミナールームです。
- ※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。
- ※調座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。
- ※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち 第126号

令和6年(2024年) 1月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL 0748-46-2424 E-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp URL: https://www.azuchi-museum.or.jp